

豊かな食シーンを、岡山から世界へ。



きびだんご（元祖きびだんご、むかし吉備団子）

カーボンフットプリント報告書



2025年8月

株式会社廣榮堂

1. カーボンフットプリント算定の目的

私たちは「きびだんご」を原点に、伝統と文化を未来へつなぐとともに、食の持つ可能性を拡げ、笑顔と感動を生み出すことをミッションに SDGs の取組を行っています。その取組みの一つとして、当社製品のライフサイクルにおける温室効果ガス（GHG）排出量の見える化（カーボンフットプリント：CFP）を実施しました。CFP の算定は、GHG の削減と、お客様の商品購入時の意思決定プロセスにおいて、環境価値という新たな選択肢を提供することが目的です。

2. 算定対象商品

対象商品			
商品名		元祖きびだんご	むかし吉備団子
算定単位		1 箱 1 5 個入り	
構成要素	製品本体	きびだんご 1 5 個	きびだんご 1 5 個
	容器包装	トレイ、包装紙	木箱、包装紙

3. 対象とするライフサイクル

原材料調達	・きびだんごの原材料と包装材を調達する段階
生産	・きびだんごを製造、包装する段階
流通	・生産工場から店舗への輸送及び店舗での販売段階
使用	・お客様がきびだんごを召し上がる段階
廃棄	・召し上がり後の包装材を廃棄処理する段階

※上記は「元祖きびだんご」、「むかし吉備団子」共通。

4. データ情報

データ情報		
原材料調達	原材料の生産	原材料使用量
	原材料の輸送	輸送距離・輸送重量
生産	商品の生産	本社・工場のエネルギー使用量
	廃棄物処理	廃棄物重量
	廃棄物の輸送	輸送重量
流通	商品の輸送	輸送距離・輸送重量
	商品の販売	店舗のエネルギー使用量
使用	収集項目なし	
廃棄	廃棄物の処理	廃棄物（包装資材）の重量
	廃棄物の輸送	輸送重量

設定したシナリオ
原材料輸送における車両重量・積載率
廃棄物輸送における車両重量・積載率
生産における電力使用量・LPGガス使用量
流通(店舗)における電力使用量

※データ情報および設定したシナリオは「元祖きびだんご」、「むかし吉備団子」共通。

5. カットオフの対象と使用したデータベース・参照規格

カットオフ
人力による作業
お客様の購入店舗までの移動および使用場所までの移動に関わる排出
フードバンクを通じた食品ロス削減に関わる排出

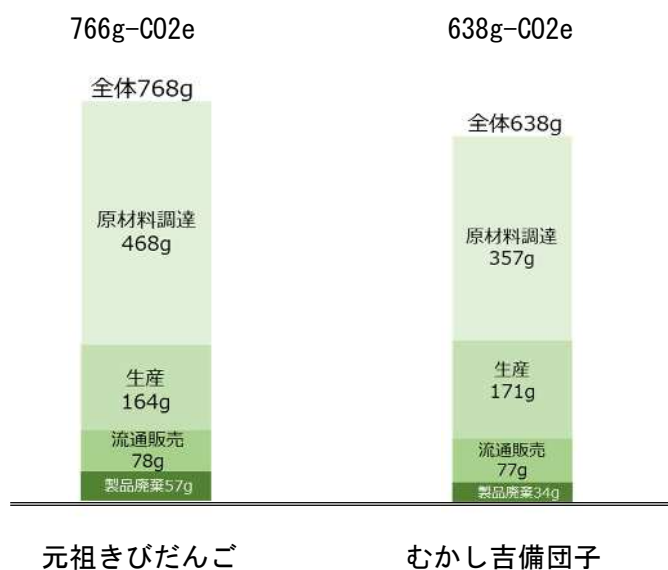
データベース
環境省 算定・報告・公表制度における算定方法・排出係数一覧
電気事業者別排出係数
国立研究開発法人産業技術総合研究所 IDEA3.1

参照規格

経済産業省・環境省「カーボンフットプリント ガイドライン(2023 年 5 月)」

6. 算定結果

「元祖きびだんご」と「むかし吉備団子」の CFP はそれぞれ以下の通りでした。



- ・両商品ともに、原材料調達に係る排出量が最も多く、全体の 50%以上（元祖:61%、むかし:56%）を占める結果となりました。
- ・むかし吉備団子の排出量が 128g-CO2e (▲17%) 少ない結果となりました。
- ・生産において、むかし吉備団子の排出量が元祖きびだんごを上回っていますが、生産段階における廃棄率が高いことが要因です。

7. 調査の限界と将来の方向性

算定における課題

- ・サプライチェーン全体で協力し、一次データによる算定が必要
- ・算定ルールの整備、算定手法の見直し、収集すべきデータの優先順位付け

今後の方針

- ・ 自社の算定ルールを整備するとともに、定期的な見直しを進める
- ・ シナリオを設定した箇所については、一次データを取得できるよう協議を始める
- ・ ライフサイクルフローの各段階・各原材料における GHG 排出量が可視化され、削減方針を議論する土台ができた。社内全体へ削減取組みへの意思統一を図るとともに、サプライチェーンに携わる方々との対話を進める。
- ・ SNS、アプリの活用、カーボンフットプリント(CFP)をテーマにしたイベントへの参加、自社店舗での CFP 表示等により、CFP の認知度向上に貢献する。
- ・ 自社店舗での CFP 表示商品の販売により、消費者の脱炭素取組みに対する行動変容を促す。